

令和3年6月24日

学校法人三幸学園  
札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校  
校長 藤田 高峰 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 中村 宗人

### 学校関係者評価委員会実施報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 中村 宗人  
(マスダプランニング株式会社 経営企画室マネージャー)
- ② 船田 遥  
(グローヴエンターテイメント株式会社 衣裳係ヘッドチーフ/第4期卒業生)
- ③ 住吉 大輔  
(株式会社共立メンテナンス 寮事業本部札幌支店リーダー)
- ④ 佐々木 美波  
(プリモ・ジャパン株式会社 アイプリモ札幌店ジュエリーコーディネーター/第9期卒業生)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和3年6月24日(会場 札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 501教室)

#### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 令和2年度 学校法人 三幸学園 札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 早坂 達

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 中村 宗人

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」、観光分野として「日本の魅力を伝えられ、語学力を有し、主体的に考え『おもてなしの心』と『人を楽しませる力』を持った人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

2020年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた。

- ・退学者数の減少
- ・卒業生満足度の向上
- ・就職決定率の向上

退学率は、2019年度より1.1%の増加となってしまったが、卒業生満足度は昨年度より0.2%向上させることができた。また、就職決定率については、コロナ禍により例年通りに進めることが難しい環境であったため、卒業までに就職決定ができるよう重点施策として取り組んだ結果、就職希望者のうち9割の生徒が3月末までに内定をいただくことができた。引き続き、卒業後も就職希望者への支援を無償で継続している。

2021年度は引き続き、退学者数をゼロに近づけることと、さらに卒業生満足度を高められる取り組みを行い、業界内就職率の向上を目指していく。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・卒業生満足度の向上が達成できたことは評価できる。退学者数の低減と就職率の向上は、引き続き重点施策としてほしい。(中村委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

・特になし

#### ② 今後の改善方策

・特になし

#### ③ 特記事項

・特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・育成人材像については、コロナ禍でも大きく変わりはないが、誰もが経験したことの無い状況においては、「変化を恐れないこと」や「自分で考え行動する力」が求められている。そのため、一般常識も必要だが、常識にとらわれない対応力を養えるような教育ができると良い。

また、スタートアッププログラムで新入生に伝えている【現場が求める人物の特徴】については、全てが必要なリテラシーではあるが、働く年次によって求められる力が異なるため、働く前に身に付けておいてほしい力と、経験を重ねてから身に付けていてほしい力とに分けて伝えられると良いのでは。実践力は働く前から身に付けておいてほしいが、統率力は経験を積んでからが良い。（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

・コロナ禍により、仕事において求められる力が、改めて浮き彫りになった。「自ら考え実行する力を持った人」がこれから求められていく人になるので、自主性を養えるしかけが必要。また、ブライダル業界ではチームワークが大切になるので、【現場が求める人物の特徴】も全て必要な力ではあるが、チーム内でのバランスも重視している。（船田委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

・採用観点では育成人材像に大きな変化はないが、「変化こそ不変」という言葉のように、全てのものが変化することは当たり前なので「変化に対応できる力」が、この先の出来事にも柔軟に対応していける人材となる。また、【現場が求める人物の特徴】に不適切なものは無いが、特に、困難に挑戦できる力（感情抑制力）は、困難を避けるのか、乗り越えるのかで成長度合いが大きく変わるため、働くうえで非常に重要なことだと感じる。学校生活においても何かに挑戦させる経験は積極的にさせてほしい。（住吉委員：ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について）

・コロナ禍では、経験者よりも新入社員の方が接客対応等の変化にも戸惑いなく適応していたため、「適応能力」が重要だと改めて実感した。また、【現場が求める人物の特徴】では、視野を広く持ち、自分で仕事を見つけることができなければ、いつまでも仕事を覚えることができないため、特に課題発見力が求められると感じている。（佐々木委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

・特になし

### ② 今後の改善方策

・特になし

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・どんな業界でも業務効率化が求められている中で、学校と現場で使っているツールに違いはない。（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

・常勤職員に対する研修は実施しているが、全講師に対しての研修は少ない。

#### ② 今後の改善方策

・全講師での会議などで、スキルアップ研修が行えるよう工夫していく。

#### ③ 特記事項

・特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・オンラインツールの扱いは業務上必要だが、生徒の方がオンラインツールには慣れていることが多いので、苦手意識さえなければ、学校で特に教えておいた方が良いというものはない。むしろ、現場では経験者が積極的にオンラインツールを勉強しているため、学校でも教職員への研修があるとありがたいのでは。新卒2年目の社員が SNS 更新担当を担っており、SNS について学んできているというよりも、慣れている方が現場では活躍できると感じている。(中村委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

・衣裳店では SNS での集客も重要なので、知識・技術は必要だが、新卒の方は使い慣れているので技術は心配していない。ただ、SNS の記事作りの際には文章力が求められ、衣裳等を紹介するバリエーションや語彙力を高められるような授業があるとありがたい。また、礼儀やマナー、毎日登校する習慣を身に付ける指導は、社会人になってからとても活かされていると実感しているため、引き続き行ってほしい。専門技術はなくとも、向上心を持っていることが大切なので、そのような指導ができるとよい。(船田委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

・ホテルの現場では、SNS よりも手書きのウェルカムメッセージや POP 作りなどで、若い感性が活かされることがある。デジタル社会ではあるが、接客業においては、資料請求の際に手書きのお礼メッセージを添えるなど、アナログのあたたかみも大切にされるため、システムばかりに頼るのではなく、どちらも活用していく必要があると感じており、これらも踏まえて学校での授業にも活かしてほしい。(住吉委員:ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について)

・ブライダルジュエリーを扱う店舗では、パソコンや iPad の操作が出来れば業務に支障はないため、パソコンスキルを授業で学んでおいてよかったと感じている。SNS ではなく、あえて手書きでお礼状を書いているので、接客業において、人の温かみを感じさせる工夫は引き続き必要である。また、ジュエリーの知識は無くても入社してから学べるので問題なく、人としての考え方を教わった未来デザインプログラムの授業は、社会人になってからもとても活きていると感じるため継続してほしい。(佐々木委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

##### ① 課題

- ・2019 年度同様、業界内就職率、資格取得率 100%を目指す。
- ・資格取得については、コロナ禍によりオンライン授業に切り替えたことで、生徒のモチベーションを上げることに苦戦し、課題となった。
- ・2019 年度より、1.1%退学率が上がってしまったため、退学率 4%以下を目指す。
- ・卒業生の活躍は一部しか確認できていない。

##### ② 今後の改善方策

- ・オンライン授業でも、生徒のモチベーションを上げられるような工夫をしていく。
- ・引き続き、ブライダル・ホテル観光分野の職業魅力を、全教員で継続して伝えていく。  
また、卒業生から在校生への講話も積極的に行っていく。
- ・担任力向上のための研修を実施し、退学率低減を図る。

##### ③ 特記事項

- ・特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・弊社には、グッドウェディングアワード 2021 のファイナリスト 8 名に選ばれた卒業生が在籍している。数年前から意欲的に参加しており、現場でも活躍している。このような先輩が同じ職場にいたことが、後輩たちへの刺激となっており、インターンシップ生が現場で経験を積むモチベーションにもなっている。（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

・弊社のヘアメイク・スタイリストのほとんどが卒業生であり、各地の店舗で活躍してくれている。毎年の定期採用ごとに 1～2 名を採用しているため、現在は経験を積んだ卒業生が各店舗の店長や店長と同等の仕事を担当している。今後もその流れを絶やさずに継続していきたい。（船田委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

・コロナ禍により、スタッフのモチベーションを高く保ち続けることが難しいと感じるが、営業している店舗で研修を行うなどで対応している。今年度は 300 名ほどの採用を見込んでおり、次年度は 400 名ほどの採用を考えている。（住吉委員：ウェディングプランナー科・ホテルエトラベル科について）

・全国の店舗で働く約 700 名の従業員の中から、顧客志向な接客ができていた販売員 50 名を表彰する勲章制度で、札幌店で勤務する 3 名の卒業生が選ばれた。このような卒業生を輩出していることは、学校としても誇りに思えることではないか。（佐々木委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### ① 課題

- ・卒業生全員を対象にした支援は行えていない。
- ・中途退学者への支援体制については、現状は有効な対策が実施できていない。

### ② 今後の改善方策

- ・卒業生が、卒業後にどのような支援を必要としているかを把握し、具体的にできることを実施していく。
- ・中途退学者に対して、どのような支援ができるか検討していく。

### ③ 特記事項

- ・2020年度はコロナ禍において、アルバイトの減少減額及び社会全体の消費減少により在校生へ一律3万円の見舞金を給付
- ・独立開業及び個人事業の卒業生へ10万円の支援金制度の創設

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業生支援として、学校主催の卒業生を対象とした無料セミナーや研修などがあれば、年次の違う卒業生と接することで情報交換や技術の向上になると感じる。そのような機会が設けられるのであれば、企業としてはぜひ送り出したいと思う。（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）
- ・卒業生対象の無料セミナーや研修は、ブライダル業界の中でも、他職種の方とのコミュニティを広げる良い機会になると思う。学校主催で行っていただけるのであれば、ハードルが高くならず安心して参加しやすい。（船田委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）
- ・卒業生対象の無料セミナーや研修は、観光業のおもてなしについて、他社との比較や他社を知ることにより、卒業生自身のレベルアップになる有益な場だと感じる。（住吉委員：ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について）
- ・卒業生同士の横の繋がりがあるとモチベーションアップに繋がると感じるため、卒業生対象の無料セミナーや研修があれば、ぜひ参加したい。（佐々木委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）



## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

・特になし

### ② 今後の改善方策

・特になし

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・必要な実習室が整備されている点が評価できる。今後も継続してほしい。(佐々木委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について)

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

・特になし

### ② 今後の改善方策

・特になし

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・少子化に伴い、学生募集の環境も厳しくなっている中、適正な募集活動を実施し、入学生を増加させ続けている点が評価できる。（松田委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

特になし

#### 【予算・収支計画】

特になし

#### 【会計監査】

特になし

#### 【財務情報の公開】

特になし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

特になし

### ③ 特記事項

特になし

### ④学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

・特になし

### ② 今後の改善方策

・特になし

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

### ① 課題

- ・社会貢献や地域貢献は積極的に取り組んでいる。
- ・地域に対する公開講座は未実施。

### ② 今後の改善方策

- ・地域との連携をさらに強化できるような活動を検討していく。

### ③ 特記事項

- ・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・社会貢献として、学園で SDGs に取り組んでいることは評価できる。弊社も今後取り組む予定であるが、今すぐに出来ることは省エネやロス減少を目指していくこと。例えば、使い捨てを出来る限り無くし、再利用が出来るようなものを使用したり、市場に出せないものを加工して商品にするなど。また、卒業生同士で繋がった輪を広げて、新しいアイデアを広げることができれば、1企業だけではできないことも実現できるのでは。（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

・東京や京都にある取引先では、再生生地を使った衣類を使用しているため、今後は弊社でもそのような取り組みをしていくことを検討していきたい。（船田委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクアンドドレス科について）

・弊社では、女性の管理職を増やす取り組みを行っており、現在は取締役にも女性がいる。また、石灰石でできた紙を使った LIMEX 名刺や、PKP 事業部では再生可能エネルギーを活かしていくための取り組みを行っている。（住吉委員：ウェディングプランナー科・ホテルエアトラベル科について）

・首都圏の店舗では、社員の着なくなった衣類などを恵まれない地域の子供たちに寄付する社会貢献を行っている。（佐々木委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイクドレス科について）

#### (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

##### ① 課題

- ・積極的に留学生の受入れをするための体制を整える。

##### ② 今後の改善方策

- ・引き続き、留学生が安心して学習できる環境作りに取り組む。

##### ③ 特記事項

- ・特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2020年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた。

- ・退学者数の減少
- ・卒業生満足度の向上
- ・就職決定率の向上

取り組みとして、2019年度より良い結果に繋がられたものもあったが、まだ改善の余地が十分にあると考える。同時に、新たな課題も発見できたため、2021年度は継続して課題の改善に取り組んでいく。